

# あびらの脱炭素

安平町でゼロカーボン推進する取り組みの事例紹介や環境問題を改善するためのアイデアをお知らせします。

発信者 地域おこし協力隊ゼロカーボン推進員・岸本 佳也



**ZERO  
CARBON  
HOKKAIDO  
ABIRA**

「カーボンニュートラル」という言葉をご存知でしょうか。今回は「カーボンニュートラル」とは何か、そして私たちの生活にどのように関係しているのかをご紹介します。

## 「カーボンニュートラル」とは



「カーボンニュートラル」とは、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の排出量と吸収量を同じにすることで、実質的にゼロにすることを指します。

CO<sub>2</sub>を全く出さないのではなく、森林の光合成によって大気中のCO<sub>2</sub>を吸収したり、環境に配慮した製品（カーボン・オフセット認証ラベル付きの商品）を選ぶなど、排出削減の技術を活用することで達成されます。

工場や車などから排出されるCO<sub>2</sub>を減らすためには、再生可能エネルギーの導入を進め、排出量を減らすことが大切ですが、さまざまな取り組みを組み合わせ、全体のバランスを取ることがカーボンニュートラルの考え方です。

## なぜ「カーボンニュートラル」が必要か

近年、気温の上昇や異常気象が多く発生しており、その原因の1つが化石燃料（石炭、石油、天然ガス）を使用することによるCO<sub>2</sub>排出（地球温暖化）ですが「カーボンニュートラル」の実現により、気候変動の進行を抑えることができます。

国際的にも「カーボンニュートラル」を目指す動きが加速しており、パリ協定では「世界の気温上昇を1.5℃未満に抑える」「2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロ（カーボンニュートラル）にする努力を求める」ことを目標に掲げ、各国でCO<sub>2</sub>排出削減に取り組んでいます。

日本でもこの目標に基づき、2050年までにカーボンニュートラルを達成することを宣言しており、企業や自治体、家庭でCO<sub>2</sub>排出量を減らす取り組みが求められています。

「カーボンニュートラル」は、私たちがこれから生活していく「未来の環境を守る」ために必要です。

## 私たちにできること

「カーボンニュートラル」の実現に向け、私たちにも実践できる取り組みをご紹介します。

### ■再生可能エネルギーの活用

自宅への太陽光発電導入、地域の再生可能エネルギーの取り組みに関心を持つ。

### ■CO<sub>2</sub>排出を減らすライフスタイル

エネルギー効率の高い家電を選び、移動時は公共交通機関や自転車などを利用する。

### ■カーボン・オフセットに関心を持つ

植林活動や環境に配慮した製品（カーボン・オフセット認証ラベル付きの商品、右図参照）を選択する。



次号の「あびらの脱炭素」では「省エネライフハック第2弾」をご紹介します